

# 周防大島町 議会だより

2016・4

第45号

発行／周防大島町議会

〒742-2192

周防大島町大字小松 126-2

TEL:0820-74-1003(議会事務局)

編集／議会広報編集特別委員会

印刷／(有)日良居タイムス

## 今回の主な内容

- 議員定数削減…………… 2P
- 新年度主要事業…………… 2～5P
- 常任委員会審査報告…………… 6～8P
- 一般質問(5人登壇) …… 9～13P
- 議会活動・研修報告…………… 14P
- 防災コーナー…………… 15P
- 山口ふるさと大使・編集後記 …… 16P



東和病院西病棟

## 地域医療を守る



新年度予算において東和病院西棟が改修されます。東棟に県の地域医療構想に適合する地域包括ケア病床(入院治療後、病状が安定した患者に対してリハビリや退院支援など効率的かつ密度の高い医療提供のため、厳しい施設基準をクリアし、国の許可を受けた在宅復帰支援のための病床)を設置し、西棟の病床数を慢性期病床へ転換整備のため削減し、公共の福祉を増進して地域医療を守り、医療体制の充実を図ります。

# 3月定例会概要

平成28年第1回議会定例会は、3月8日に本会議を開会し、17日間の日程で開催され、3月24日に閉会した。

## 50議案可決

議案等の内容は、諮問（人権擁護委員）2件、平成28年度各会計歳入歳出予算10件、専決処分

入歳出予算、公営企業局企業会計予算及び条例の制定2件については、各所管常任委員会へ付託し、慎重審議され可決すべきものとされた。

分の承認（平成27年度一般会計歳入歳出補正予算）1件、平成27年度各会計歳入歳出補正予算12件、条例の制定2件、条例の一部改正9件、過疎地域自立促進計画の策定1件、辺地総合計画の策定1件、指定管理者の指定10件、総合計画基本構想の変更1件、その他（連携中枢都市圏形成に係る連携協約締結に関する協議、総合事務組合関係、財産の無償貸与）3件、それぞれの案件については慎重審議・討論・採決し全て可決・同意された。

一般質問では、5人（吉田芳春議員、尾元武議員、広田清晴議員、小田貞利議員、今元直寛議員）が登壇し、椎木町長等に対して私たちの身近な行政や教育行政について一般質問（町政を問う）を行った。

## 議員定数を

### 2人減14人に

かねてより議員定数問題は、様々な要望を受け、議会運営委員会で検討し、議長が議長発議で現行の16人から2人減の14人にすることを議員全員協議会で

示した。条例改正議案は、6月定例会に提出する。  
なお、可決すれば、11月13日任期満了となる次期町議会議員一般選挙から適用となる。

## 新年度一般会計 予算成立

139億2百万円

昨年度比1・3%減額

「幸せに暮らせるまちづくり」の実現に向けて

- ・安心して子どもを産み育てられる町
- ・働く意欲の湧き出る町
- ・自然と環境にやさしい町
- ・晩年を豊かで安心して過ごせる町
- ・次世代に素敵な未来を約束する町



こんなことが  
決まりました！

## Ⅱ主要事業Ⅱ

### ◆企業誘致対策事業

18,902千円

町内にしごとを創り若年層の定住を促進するため、町内の遊休施設を改修し、企業誘致を図るための条件整備を行います。（誘致企業内定）

### ◆若者定住住宅用地整備事業

111,300千円

若者の定住促進を図る住宅団地の宅地造成事業を行います。

### ◆中学生医療費助成事業

8,688千円

現在、0歳から小学校6年生までのちびっ子医療費助成事業を中学校3年生まで医療費を全額助成します。

### ◆児童クラブ英語講師派遣事業

240千円

町内の全児童クラブを対象



久賀児童館



子育て支援センター（久賀）

に英語学習を実施します。

### ◆地域子育て支援拠点事業

22,359千円

子育て支援センターを民間に委託するとともにセンターを3ヶ所設置し、参加しやすい環境を整え、子育てで不安の解消や子どもの健やかな育成を支援します。

### ◆保育所英語講師派遣事業

1,680千円

幼少期から英語に慣れ親し

### ◆児童手当事業

137,422千円

コミュニケーション能力を養うために、町内の全保育所を対象に英語学習を実施し、子育てを支援します。

中学生修了までの子どもを対象に一人あたり、3歳未満は月額15千円、3歳以上は月額1万円、（3歳以上小学校修了までの第3子以降は、15千円）、所得制限以上の者は月額5千円を支給します。

### ◆保育料同時入所

#### 2人目以降無料化事業

9,103千円

同一世帯の就学前児童が保育所に2人以上同時に入所している場合、保育料の負担は1人までとなります。

### ◆浮島地区

#### 海底送水管布設事業

9,000千円

浮島地区の慢性的な水不足を解消することを目的に、神浦から江ノ浦に海底送水管を布設するための測量・調査・



本土から海底送水管で給水が待たれる浮島

設計業務を行います。

### ◆有害鳥獣捕獲事業

16,318千円

イノシシ、タヌキ、カラスなどの有害鳥獣の捕獲を行います。また町内で捕獲した野生鳥獣を有効活用するため、必要な施設整備への補助を行います。

### ◆鳥獣被害

#### 防止施設等整備事業

8,000千円

イノシシ被害を防止するために設置する防護柵等に対して助成を行います。

### ◆新規就農者確保事業

19,500千円

農業の担い手を確保するための新規就農支援として、新規就農者育成に対する総合的な支援を行うための給付金を支給します。

### ◆ニューフィッシャー

#### 確保育成推進事業

17,900千円

新規漁業就業希望者に対し、漁業研修や自立後の経

営支援及び漁船等の購入を援助し、漁業の担い手を育成します。

#### ◆農業経営体質強化事業

21,330千円

園内作業道、灌水施設、柑橘新植、ハウス施設等の整備に対し助成を行います。

#### ◆定住促進離島活性化事業

1,890千円

離島からのイリコ等水産加工品の海上輸送費を助成することにより商品競争力を高め、売上高の増加を図ることで、離島における雇用の確保を推進します。

#### ◆空家対策

##### ローン利子補給事業

2,000千円

空き家の放置を防ぐために、所有者等が金融機関による空家対策ローンを借り入れた場合、利息（保証料を含む）を補てんします。

#### ◆空家有効活用事業

15,013千円

町が個人等の所有する空き

家を借り上げ居住可能な改修を施し、町内への定住を希望する方へ貸し出すことで定住を促進し、併せて空き家の荒廃を防ぎ生活環境の維持を行います。

#### ◆移住者向け

##### 空き家バンク登録推進事業

1,500千円

空き家を有効活用した定住促進を図るため、移住者向けに空き家のリフォームや家財処分費用の助成を行います。（リフォーム・家財処分後に空き家バンクへの登録をして頂きます。）

#### ◆滞在型旅行等誘致促進事業

1,030千円

3月27日の沖縄（那覇）線新規就航を記念して、「岩国錦帯橋空港沖縄線就航記念キャンペーン」を実施し、交流人口の拡大を図ります。



#### ◆久賀・大島地区

##### 公共下水道事業

576,943千円

用水路や公共水域の水質保全、快適な生活環境の保全及び定住促進を図るため久賀・大島地区において公共下水道整備を行います。

#### ◆臨時福祉給付金

46,517千円

平成26年4月の消費税の引き上げによる所得の低い方々への負担を軽減するため、暫定的・臨時的な措置として一人3,000円を給付し、さらに、低所得者の障害・遺族基礎年金受給者を対象に30,000円を給付します。

#### ◆瀬戸公園整備事業

11,308千円

大島大橋40周年の節目にあわせて、遊歩道の整備や植栽を行います。

#### ◆合併浄化槽設置事業

18,449千円

下水道未整備地区における合併浄化槽の設置を支援

します。

#### ◆自主防災組織等

##### 防災訓練補助金

600千円

自主防災組織等が訓練を実施した場合、その経費の一部を助成します。

#### ◆海の駅拠点整備事業

12,168千円

安下庄地区の観光漁業を展覧させるため、「海の駅」登録を目指して基幹施設の整備を実施します。



毎月開催されている安下庄海の市

#### ◆観光施設・

##### サイン看板設置事業

39,663千円

大島大橋南詰法面にサイン

看板、各観光施設入口にランドマークとしての機能を持たせた共通型のLED看板を設置します。



本土から大島大橋を渡った法面にサイン看板を設置予定

#### ◆四境の役150周年記念事業

4,000千円

四境の役から150周年を迎え、歴史的遺産の史跡整備や文化遺産を町内外に発信するため関係団体と連携を取りながら様々な事業を実施し観光客を誘致します。

#### ◆先導的果樹花木導入事業

1,000千円

新たな特産品や観光資源となり得る果樹や花木の苗木などの購入を助成します。

#### ◆地域資源活用

##### 新ビジネス応援事業

1,530千円

農林水産物などの地域資源を活用した特産品開発など、新たな地域ビジネスにつながる活動をする個人や団体に対する支援を行います。

#### ○人事案件

##### 人権擁護委員候補者の推薦

奥原法城氏(秋)

(平成28年4月1日)

平成31年3月31日

松本敏恵氏(日前)

(平成28年4月1日)

平成31年3月31日



## 臨時会概要

#### ○請負変更契約の締結

平成28年第1回議会臨時会は、1月29日に開催され、専決処分の承認2件、久賀公民館耐震改修工事の請負変更契約の締結1件、全て原案のとおり可決・承認された。

・契約の目的

久賀公民館耐震改修工事

・契約の方法

随意契約

・原契約金(当初)

124,632,000円

・契約金額(変更)

134,034,480円

・契約の相手方

平川建設(株)

代表取締役 平川義英



耐震改修された久賀公民館

## 議員派遣

#### 【東京大島ふるさと会】

目的

会員との情報交換・交流を通して親睦を深めることにより、ふるさと大島の発展に寄与する。

派遣場所

東京グリーンパレス

期間

平成28年5月28日(土)

派遣議員

広田清晴議員 今元直寛議員

荒川政義議長

# 新年度予算は

## どう議論されたのか

### 総務文教常任委員会

委員長 魚原満晴

**問**

ふるさと応援基金を瀬戸公園改修事業に充てるとの説明であったが、子どもを遊ばせる公園や遊具が少ないとの意見もあるので、子育て事業にも充ててることを検討いただきたい。

**答**

各課の予算要求時点で、財政課と議論している。今年度は、大島大橋架橋40周年ということで、瀬戸公園改修に充当した。

今後も、予算編成の段階で議論していく。

**問**

新地方公会計制度とはどのようなものなのか。また、固定資産台帳を作成すれば減価償却を行うのか。

**答**

貸借対照表等を作成し、公

表することで財政状況を分かりやすくしようとするもの。固定資産の減価償却は行う。

**問**

空家有効活用事業の修繕費が1軒当たり300万円とのことであるが、これを超える場合の対応は。

**答**

対象家屋の事前審査を行い、300万円を超えないように修繕の見積額が200万250万程度の空家を選定している。

**問**

教員住宅の充足率は。

**答**

総数39戸中、入居が29戸、空き家10戸。

**問**

語学留学支援金の留学先がフィリピンである理由と対象者及び留学期間は。

**答**

フィリピン英語が標準的な英語に近く、日本人に受け入れ安いこと。マンツ―

マンの授業体制が成果を上げていること。安価であること。連携協定を結んでいる山口大学においても実績があることが主な理由。対象者は、本町に住所を有



総務文教常任委員会

する高校生を主体とし、中学生も対象とする予定で、留学期間は10日間程度。

**問**

本町の児童生徒の学力が低いと聞いているが、山口県や全国と比較してどのような状況か。

**答**

4月に行われた全国学力学習状況調査では、小学校では5科目、中学校では1科目、全国平均より高かった。県平均との比較では、小学校はほぼ同レベル、中学校は低い。

**問**

グローバル推進事業は、小学校低学年の英語教育と理解しておりますが、取り組み成果と今後の予定は。

**答**

小学校3校で取り組んでいる。英語授業が低学年に移行するかもしれないという国の動向を見ながら今後広げることについて検討する。

3校の取り組みは良好と聞いている。

**問**

増刷される、きょうど大島の配布先は。

**答**

町内の児童である。

## 民生常任委員会

委員長 今元直寛

**問** 福祉医療費・ちびっこ医療費・中学生医療費の対象者と助成額は。

**答** 福祉医療費のうち重度、心身障害者は805人の1億2,476万2千円、ひとり親家庭は190人の661万2千円、乳幼児は385人の1,215万1千円。

**問** ちびっこ医療費は小学生586人の1,661万7千円。中学生医療費は273人の845万3千円を計上している。

**答** 臨時福祉給付金の支給額は。

**問** 低所得者等の負担を軽減するため、1人あたり3千円が給付される。障害基礎年金または遺族基礎年金受給者は3万円が加算される。

**答** 歯周病検診と内臓疾患との関係はあるのか。

**問** 歯周疾患は糖尿病や心疾患等生活習慣病とも関わりがあり、歯周疾患の予防が大切である。40歳以上全員を対象に歯周病検診を実施する。

**答** 歯周疾患は糖尿病や心疾患等生活習慣病とも関わりがあり、歯周疾患の予防が大切である。40歳以上全員を対象に歯周病検診を実施する。

**問** 国民健康保険事業特別会計

**答** 国保税を前年度と比較すると、2,451万9千円の減となつていますが、主な原因は何か。軽減世帯数の見込みは。

**問** 所得、世帯数及び被保険者数の減が主な原因である。軽減世帯は2,496世帯を見込んでおり、前年度と比較すると140世帯の増である。

**答** 後期高齢者医療事業特別会計

**問** 後期高齢者医療保険料は2年に一度改定されるが、県ごとと比較すると、山口県はどのあたりに位置するのか。

**答** 平成24・25年度は11位、平成26・27年度は10位である。平成28年度の順位は現在のところ不明であるが、県広域連

合の試算によると、概ね同様の順位が見込まれる。

**問** 介護保険事業特別会計

**答** 要支援1と2は、ボランティアの対応とする流れがあるが、どのようなものか。

**問** 要支援の通所介護と訪問介護は、ボランティア等を活用した多様なサービスに変えることになっている。平成29年4月から移行予定である。

**答** 公営企業局企業会計

**問** 看護学校の卒業生から12人を採用予定ということだが、配属先は。

**答** 東和病院に8人、橘病院に3人、大島病院に1人を配属する予定である。

**問** 東和病院西棟の改修の理由は。

**答** 諸般の情勢と将来を見通して、東和病院東棟の病床の一部を地域包括ケア病床に変換するとともに、西棟に日常生活動作の訓練室を設け、在宅復帰を支援する体制を整える。

**問** 西棟は建築後20年が経過しており、施設・設備などが老朽化している。4月には、整形外科の院長が赴任し、手術数が増える見込みだが、西棟にある手術室の空調設備を改修する必要がある。

**答** 西棟は建築後20年が経過しており、施設・設備などが老朽化している。4月には、整形外科の院長が赴任し、手術数が増える見込みだが、西棟にある手術室の空調設備を改修する必要がある。

**問** 西棟は建築後20年が経過しており、施設・設備などが老朽化している。4月には、整形外科の院長が赴任し、手術数が増える見込みだが、西棟にある手術室の空調設備を改修する必要がある。

**答** 西棟は建築後20年が経過しており、施設・設備などが老朽化している。4月には、整形外科の院長が赴任し、手術数が増える見込みだが、西棟にある手術室の空調設備を改修する必要がある。

**問** 西棟は建築後20年が経過しており、施設・設備などが老朽化している。4月には、整形外科の院長が赴任し、手術数が増える見込みだが、西棟にある手術室の空調設備を改修する必要がある。

**答** 西棟は建築後20年が経過しており、施設・設備などが老朽化している。4月には、整形外科の院長が赴任し、手術数が増える見込みだが、西棟にある手術室の空調設備を改修する必要がある。

**問** 西棟は建築後20年が経過しており、施設・設備などが老朽化している。4月には、整形外科の院長が赴任し、手術数が増える見込みだが、西棟にある手術室の空調設備を改修する必要がある。

**答** 西棟は建築後20年が経過しており、施設・設備などが老朽化している。4月には、整形外科の院長が赴任し、手術数が増える見込みだが、西棟にある手術室の空調設備を改修する必要がある。

**問** 西棟は建築後20年が経過しており、施設・設備などが老朽化している。4月には、整形外科の院長が赴任し、手術数が増える見込みだが、西棟にある手術室の空調設備を改修する必要がある。

**答** 西棟は建築後20年が経過しており、施設・設備などが老朽化している。4月には、整形外科の院長が赴任し、手術数が増える見込みだが、西棟にある手術室の空調設備を改修する必要がある。

**問** 西棟は建築後20年が経過しており、施設・設備などが老朽化している。4月には、整形外科の院長が赴任し、手術数が増える見込みだが、西棟にある手術室の空調設備を改修する必要がある。

**答** 西棟は建築後20年が経過しており、施設・設備などが老朽化している。4月には、整形外科の院長が赴任し、手術数が増える見込みだが、西棟にある手術室の空調設備を改修する必要がある。

**問** 西棟は建築後20年が経過しており、施設・設備などが老朽化している。4月には、整形外科の院長が赴任し、手術数が増える見込みだが、西棟にある手術室の空調設備を改修する必要がある。

**答** 西棟は建築後20年が経過しており、施設・設備などが老朽化している。4月には、整形外科の院長が赴任し、手術数が増える見込みだが、西棟にある手術室の空調設備を改修する必要がある。

**問** 西棟は建築後20年が経過しており、施設・設備などが老朽化している。4月には、整形外科の院長が赴任し、手術数が増える見込みだが、西棟にある手術室の空調設備を改修する必要がある。

**答** 西棟は建築後20年が経過しており、施設・設備などが老朽化している。4月には、整形外科の院長が赴任し、手術数が増える見込みだが、西棟にある手術室の空調設備を改修する必要がある。

**問** 西棟は建築後20年が経過しており、施設・設備などが老朽化している。4月には、整形外科の院長が赴任し、手術数が増える見込みだが、西棟にある手術室の空調設備を改修する必要がある。

**答** 西棟は建築後20年が経過しており、施設・設備などが老朽化している。4月には、整形外科の院長が赴任し、手術数が増える見込みだが、西棟にある手術室の空調設備を改修する必要がある。



民生常任委員会

# 建設環境常任委員会

委員長 田中隆太郎

**問** 集合処理と合併処理の格

差是正の内容について、また、合併浄化槽設置後の維持管理費への対応は考えているか。

**答** 下水道整備に係る受益者

分担金は、一筆の土地の面積に対し一回限り1㎡について3000円を支払って頂くことになる。

なお、合併浄化槽設置後の維持管理については現在のところ考えていない。

**問** 広域水道からの受水費単

価の改定状況について

**答** 使用開始から平成12年度

までが130円、平成14年度までが118円、平成27年度までが120円となっている。

平成28年度から平成32年度までの5年間については113円を予定している。

**問** 浮島地区海底送水管整備

について

**答** 総事業費7億5千万円の

予定で平成28年度から平成31年度までの4年間で整備をする予定である。

**問** 水道使用料の滞納繰越分

の内訳について

また経営戦略策定業務の内容は。

**答** 水道使用量の滞納繰越分

は、平成26年度末8,160万円、27年度中に720万円の収納を差し引いた、7,440万円となっている。

経営戦略策定業務は、公会計への移行に併せて行う業務である。

**問** 火葬場の予算計上に係る

火葬、葬儀の見込み件数は

**答** 大島斎場は、火葬が223

回、葬儀は161回である。桶斎場は、火葬が233回、葬儀は131回を見込んでいる。

**問** 民泊事業に関しては、他

の地域でも同じような取り組みを始めており、競争も激しくなっていると推測する。

受人側の体制や、資質も問われることになるが、その状況は。

**答** 予算要求時点の17校から

若干増えている。平成28年度は本町を訪れる学校の59%がリピーターであり、学校や旅行会社の周防大島町の体験型教育旅行に対する評価は、高いものがあると考えている。

受入家庭の確保が高齢化により難しくなってきたため、Ｉターン、Ｕターンの方に対しても積極的に受入の促進を図っている。

**問** 「海の駅」の構想について

**答** 安下庄地区で現在月一回

実施されている「海の市」を取り込み、「海の駅」登録を目指して、基幹施設を整備する。

水産加工所。鮮魚販売施設や沖に浮桟橋を設置する予定。

**問** 有害鳥獣対策調査研究と

野生鳥獣食肉処理施設等整備事業の内容について

**答** 有害鳥獣対策調査研究は、

山口大学との包括連携によ

建設環境常任委員会



り、イノシシ被害地調査、食性把握のための調査研究を行う。

また野生鳥獣食肉処理施設は、イノシシの肉をジビエとして活用する施設の改修を対象とし、一件につき50万円で二件分の100万円を予算計上している。

## 町政を問う！

### どうする私たちの町づくり

# 一般質問

こっぴど

知りたい！  
聞きたい！



吉田 芳 春 議員

捕獲したイノシシを食肉加工処理し、6次産業化で地域の活性化を！

**問** 町民からイノシシ被害にについて苦情は後を絶たない。農作物被害も深刻であるが人家の庭先などにも出没し、家庭菜園の被害や家の近くの側溝を掘り起こされて側溝が土で埋ってしまふ被害などがある。

また高齢者が朝夕の散歩中にイノシシに出くわして身の危険にさらされる被害があり、イノシシ対策が急務である。

国でも、新たな対策事業が予定されるなど取り組みが強化され

ている。

今後の課題を踏まえ、今こそ、地域創生を活用したイノシシ対策の一層の強化が必要である。

町内周辺におけるイノシシ生育頭数は年々増加傾向にある。この現状をどのように見ているのか町長の考えを問う。

**答** 平成27年度末の捕獲数は1,800頭と予想しており、過去最高の捕獲を見込んでいます。それに伴い生育数も増加しているものと推測している。

**問** 町として国や県へ有害鳥獣対策の強化を求めると共に、現在ある制度の研究と今後の活用について問う。

**答** 有害鳥獣防止対策事業の継続実施について、農林省中国四国農政局山口支局へ強く要望している。

**問** イノシシ被害が下火になるまで期限付きの特別条例を制定し、誰でも無条件でイノシシ対

策の補助・助成を受けられるような緩和措置はできないのか。

また、イノシシ被害対策室(仮称)など専門の班を新設し、イノシシの根絶を図る考えはあるのか。

**答** 前年度から現況耕作地であれば補助対象としている。面積要件も電気設置以外は外している。

現行制度の下で対応可能と判断している。

農林振興班の所管であり、特に専門的な班を設置する考えはない。

**問** イノシシの習性や食性などを調査・研究し、イノシシが近づきにくい地域づくりに取り組む考えがあるのか。

**答** 山口大学との「包括的連携・協力協定」の一環としてイノシシ対策について調査研究を行うことにしている。

**問** イノシシを昨年度、過去最高の1,621頭捕獲している。捕獲したイノシシを食肉加工

(猪肉料理やハムなど)し、有効活用ができるよう食肉加工所の設置や真空低温調理法の普及を

図り、6次産業化の振興と地域活性化策について問う。

**答** 捕獲した鳥獣を有効活用する上からも6次産業化し、防衛、調査研究の他、捕獲した鳥獣を資源としての活用も、視野に入れて行くことも必要であると思う。

新年度から、野生の鳥獣食肉処理施設等整備事業の補助金を創設し、食肉処理業の許可に必要な施設整備に一施設一回限り上限50万円の補助金を計上している。



大積・佐連間県道添いに出没したイノシシ

## 町政を問う！



尾元 武 議員

### 本町の玄関口の観光資源の整備と将来ビジョン

**問** この度の（平成28年度～平成32年度）周防大島町過疎地域自立促進計画の観光事業において「飯の山展望台改築事業」が概算事業費1億3,800万円の計画予算で予定されている。

飯の山は実に風光明媚な本町の隠れた観光資源として、筆頭に挙げられる名所である。

しかしながら山頂までの道路は狭隘で対向車の離合もままならぬ状況。この度の事業を通して本町の玄関口の観光資源をどのように展開されるのか、そのビジョン展望を尋ねる。

また、来年度予算に計上の「観光施設・サイン看板設置事業」の内、大島大橋南詰法面のサイン看板においては玄関口であるがゆえにイメージが大切と思う。

話題性も含め、より本町に馴染んでもらうためにも、公募もひとつの手段と考えるが如何か。

**答** 本町では交流人口100万人を目標にした各施策を推進している。

今後も食による観光振興やスポーツ観光誘致の推進、各メディアへの露出等も積極的にを行い、更なる知名度向上を図り魅力ある観光地づくりに努めていく。

次に、雄大な瀬戸の渦潮を眼下に望む飯の山展望台については老朽化による劣化が著しい状況にあるため、有利な補助事業を検索し、事業実施の見通しが立てば、改築を検討していく。

飯の山の展望台整備計画とあわせて、県道飯の山線の改良要望も検討したい。

観光施設・サイン看板設置事業については、観光産

業の更なる発展を図るため、各観光施設入口に、ランドマークとしての機能を持たせた共通型の看板を設置しようとするもの。

また、大島大橋南詰交差点の山側法面には周防大島サイン看板の設置を計画している。



飯の山展望台から大島大橋を望む

ローマ字表記で町名を表すLED看板で来訪者に強い印象を与え更なるおもてなしのこころをあらわすことを願っている。

現在、関係機関と設置に向けて協議をしている。

また、公募の提案を頂いたがサイン看板のデザインは、本町浮島出身で東京在住の新村則人さん監修プロデュースによるものを考えている。

**要望** これまで観光協会の協力の下、シーズンには『ALPHA』横文字で観光に來られた方々をもてなししているところ。

アロハはハワイ語で「こんにちは」「さようなら」「おはよう」「ありがとう」等の温かく迎えることのできる多様性のある言葉。

カウアイ島との姉妹縁組を結ぶ島としてイメージアップせんがためにも必要と思うが、文字が重なってアンバランスになるのではと危惧するところ。関係者よく協議して、進めて頂きたい。

## 町政を問う！



広田 清晴 議員

### 子どもたちの貧困化問題は

**問** 子どもの貧困についての認識と対応について質問する。

**答** 子どもの貧困とは、子どもを持つ家庭が社会において当たり前と言われていることをするのが困難な生活水準にあることから、子どもたちがきちんとした食事ができていない、病院に連れて行ってもらえていない等の状況にある。

国の調査では6人に一人が貧困の状況となっている。

平成27年度より設置した主任相談支援員による就労支援、要保護・準要保護児童就学援助など生活・経済・教育支援を行っている。

### 子どもたちは島の宝



子どもたちがその生まれ育った環境に左右されることなく夢と希望をもって健やかに成長していけるよう、今後も子育て支援策を検討する。

### 保育料の父母負担の軽減を2子以降完全無料化実現を

**問** 子育て支援の立場から「第

2子保育園同時入所無料の制度」を、同時入所の枠を取り払い、2子の場合の保育料全て無料になるよう軽減対策を求める。

**答** 町としても、子ども子育て支援の充実は少子化対策定住対策における重要課題の一つであると認識しているが、同時入所枠をとり、第2子以降の保育料を無料化するには、恒久的な財源確保の見通しが必要なので、慎重に検討する。

### 中学校一校統合は急ぐ必要なし

**問** 中学校一校統合はアンケートの結果からみても更に慎重な取り扱いが必要。昨年教育委員会が行った中学校統合問題アンケートの結果をみると興味深い結果を示している。親たちの意見、子どもたちの意見は「中学校統合に否定的意見が半数である」この声を大事にすることが重要。

**答** 学校運営協議会・教職員は合併賛成65.8%及び54.7%と賛成意見が多く、保護者は賛成47.9%に対し反対48.4%と拮抗、生徒は反対が66.7%と反対意見が多かった。

**要望** アンケート結果はまさに「中学校統合は急ぐ必要なし」を示している。統合問題を論じるより、まだ先に教育委員会としてやる必要がある。そのことを議論すべき。



## 町政を問う！



小田 貞利 議員

### イノシシ対策

**問** イノシシ被害は年々増加、昼夜を問わず頻繁に出没、学校内にも侵入しており、子供達に危害が及ぶことが大変心配される。早急な対応を。

**答** すでに学校敷地内にワイヤーメッシュ等の柵の設置を行っている学校もある。

油田小学校は、先日現地調査を行い、出没箇所を確認したので、当面ワイヤーメッシュによる防護柵を設置したい。

**問** すべての学校



人里に出没するイノシシ

に正規のフェンスが必要ではないか。

**答** 正規のフェンスでは高額になるため、防護柵設置を継続的に実施していきたい。

### サメ対策

**問** 近年温暖化により、サメの目撃情報が増加し、昨年は公的機関からの情報も14件に及ぶ。

サメ除けネットの設置が必要。事故が起きる前の対応を。

**答** 町が管理している海水浴場は5箇所、そのうち3箇所は

設置していない。

全ての海水浴場に整備した場合、

1千万円を

超える予算

が必要とな

り、毎年の

設置費も高

額となるた

め、3施設にはサメ除けネット

を設置してないことを表示し

ており、今後は近海でサメ情報

が発表された場合は、注意喚起

の看板を設置する。

**要望** 一度設置すれば20年以

上使用可能。毎年の設置費用

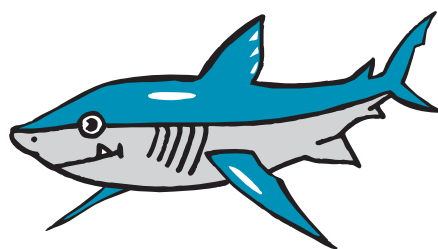
も、地区関係者等と協議すれ

ば対応可能と考える。再度検

討を望む。

### 定住促進

**問** 町長は、定住対策を大きな柱として位置づけ、若者定住住宅用地整備事業の予算を計上。少しでも多くの若者が町内外で



仕事をするために、便利な場所に住宅用地の整備は必要であり、柳井・岩国のベクトタウン化を目指すことは大変重要なことだが、今現在、島に残り、あるいは、U・イターンして、農業、商工業で一生懸命頑張っている若い世代にも、同様の支援が必要。並行して平等な支援を望む。

**答** 昨年策定した周防大島町まち・ひと・しごと創生総合戦略において喫緊に取り組むべき施策について計画を策定、若年層の就職先として企業誘致や起業など職の創設に対する支援、若者が本町に住み続けるため安価な土地提供に資する若者定住住宅用地整備事業、安価な賃料で住宅を提供する空き家活用住宅の整備などを実施予定。

定住促進については、やれることは全てやる覚悟を持ち臨んでいる。先鋭的な施策提言を頂きたい。

**要望** 漁業者、町外からの定住者も期待して待っている。早急に対応をしていただきたい。

## 町政を問う！



今元直寛議員

### 企業誘致について



企業進出された旧三蒲小学校でパプリカのハウス栽培

**問** 廃校を活用したパプリカ栽培、IT企業によるサテライトオフィスの誘致に成功したが、今後の誘致計画について

**答** パプリカ栽培は今後規模を拡大したい意向、IT企業も事業の拡大計画があるようである。

今後は空き家や、廃校などの資源を活用できる企業誘致を促進し、職場の確保、雇用拡大に努めたい。

### 周防大島町のベッドタウン化について

**問** 仕事は島外で、生活は島内で、さらに、島外より転入したくなる周防大島町であるためには、子供の教育環境を整備し、子育て世代の島外転出を抑える必要がある。考えを問う。

**答** 子供の教育環境の向上は、若者定住の重要な条件と考えている。そのために、学校の耐震改修などのハード面の整備や、幼少期から英語教育の充実や時代に即したICTを活用した特色ある教育を進めている。

### 岩国米軍基地問題について

**問** 町民は岩国米軍機の騒音に不安を感じている。定住促進にはマイナスイメージとなると思うが。

**答** 空母艦載機による騒音の変化など、住民には様々な不安があり、きめ細やかな対応が必要である。

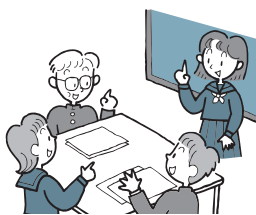
騒音問題をはじめとした安心・安全対策や地域振興策など重要課題については、今後も「山口県基地関係県市町連絡協議会」を通じて要望していく。

### 周防大島町の子どもの学力について

**問** 本町の小中学校生の学力は。

**答** 全国学力学習調査の結果、小学生は全ての教科で全国平均を上回っている。

更に、学内に「学力向上検討委員会」を立ち上げ、現場目線で取り組み、学力向上と魅力あ



る学校づくりに努力している。

### 町営の学習塾の導入について

**問** 大分県豊後高田市では小中学生の土曜日の居場所づくりと、学力向上のために市営の学習塾を運営しているが本町でも導入を検討したらどうか。

**答** 豊後高田市が導入した市営の学習塾「学びの21世紀塾」は、非常に参考になることが多い。

本町ではコミュニティ・スクールの取り組みの中で、地域の教員OBにお願いして、放課後の学力向上に向け様々な補充学習の計画がある。

### 中学校統合について

**問** 中学校統合の問題について

**答** 昨年実施した統合の賛否を問うアンケート結果は、生徒の反対が多く、保護者は賛否が拮抗している状況である。この状態では結論はだせない。本年11月までに意見集約をしたい。

## 議会活動・研修

地域活性化特別委員会

委員長 今元直寛

### 住みたい田舎への視察



戴星学園を授業見学

雑誌「いなか暮らしの本」で住みたい田舎一位に選ばれた大分県宇佐市、豊後高田市を視察した。

宇佐市は「宇佐八幡宮」で知られ、人口5万6千人の地方都市である。同市は全国でもいち早くグリーンツーリズム（農家に宿泊し、農業体験を行う）事業に取り組んで、多くのリピーターを通じ、都会と田舎の情報交換が盛んに行われている。受け入れ農家は約100軒で、経済効

果は年間1億円を超えている。豊後高田市は人口約2万3千人、国東半島に位置している。

同市ではかつて、小中学生の学力が県下でワースト1、2位であった。危機感を覚えた市では、生徒の学力向上のため「学びの21世紀塾」（市営の学習塾）を開設、また遠隔地の学童にはCATVを利用した「テレビ寺子屋塾」を放映している。現在では県内でもトップの成績を誇っている。今日では小中学生の6割にあたる約1千人がこの補修授業を受けている。小中一貫校「戴星学園」もある。ここでは一つの職員室で小中の教員が一緒に仕事をしており、特徴のある授業として小学校一年生から、外国人講師による英語教育が毎日行われている。

これらの教育方針が評判を呼び、地区外からの転入が増加している。この研修を通して、子育て世代の人を呼び込むには、島の自然や伝統、豊富な人材を生かした、島独自の優れた教育環境の構築が重要であると痛感した。

防災対策特別委員会

委員長 尾元 武

### 「自助」こそ減災の要

徳島県松茂町は、吉野川河口の三角州で形成された町で、人口は15,457人、面積は13.54km<sup>2</sup>、海抜1m程度の低地の町である。津波発生時には、甚大な被害が想定される町で、南海トラフ地震防災対策推進地域及び特別指定地域に指定されている。このような厳しい条件の町に赴き、印象に残った結論は、「大切なのは『自助』である。いかにわが身を守るかが減災に繋がる大きなポイント」ということであった。

町は、減災対策の補助制度として家具転倒防止対策及び防災用品購入に対し、一定の補助を行い、防災訓練が行われている地域では職員が支援員として参加し、防災訓練を実施している。また自主防災組織の避難する際の要支援者名簿の作成については、本人から申請の形をとり公表の承諾を頂き、自主性を

求めている。

松茂町津波防災センターは、津波が抜け通るピロティ構造で震度5弱を感じればドアロックは解除され、避難が可能となる。備蓄も万全で避難場所の間仕切りも工夫された三階建ての建物であった。また、徳島県立防災センターでは地震の歴史、メカニズム等を学び、AED救命訓練では体験を通し実際に使用する際の諸注意事項を学習した。

この度の視察研修を活かし本町の防災活動にも提言していきたい。



松茂町視察

# 防災コーナー

## 自主防災組織資機材 整備補助金の活用を

有備無患とは、「備えあれば患い無し」備えが有れば、いざという時にあわてることがない。この句は、中国の孔子の言葉である。

平成7年に発生した阪神淡路大震災では、生き埋めや家屋等の下敷きとなった方のうち、助かった約95%の人は、家族または隣近所の方々によって救助されている。

大規模な災害が発生した場合、被害が広範囲にわたり、行政や警察、消防などの防災関係機関だけでは十分な災害応急活動はできない可能性もある。

このような大災害に備えて、自主防災組織の果たす役割は大きなものがあります。自主防災組織づくりは、既存の自



町の補助金で整備された防災倉庫、防災資機材

治会等の住民組織単位周防大島町では、自主防災組織を設立し、町から認定された自主防災組織へ防災資機材整備費や自主防災訓練の補助金が交付される。

まず自主防災組織を設立し、地域の防災力を高めるため、自主防災組織資機材や防災訓練の補助金を活用しよう。

詳しくは、役場総務課へお問い合わせください。

防災対策特別委員会

副委員長 吉田 芳春

## = 行政報告 =

### 情島小中学校が 休校

地域の皆さんに長年慕われている児童養護施設「あけぼの寮」の移転に伴い、隣接する情島小中学校が来年3月末に休校になります。



情島小中学校

### 周防大島町

### プレミアム商品券の

### 利用状況について

#### ・販売実績

224,880千円

#### ・換金状況

建設業・工務店等 62,507千円

モータース 39,955千円

スーパー 28,390千円

J A 山口大島 22,103千円

ホームセンター等 16,184千円

右記以外 55,494千円

#### ・総計

224,633千円

#### ・換金未済額

247千円



## 観光振興に一役！

# マウンテンマウス 山口ふるさと大使に

(中谷昌史さん・愛美さん)

山口県のPRにご協力いただける著名な方が「山口ふるさと大使」に就任され、本県の魅力を全国に発信しています。このたび、周防大島町西安下庄出身の兄妹デュオ「マウンテンマウス」の中谷昌史さんと中谷愛美さんお二人が、県知事から山口ふるさと大使に委嘱されました。今後、音楽活動を通しての観光振興に期待が寄せられています。

## 『全ては皆さんの おかげさま人生』

こんにちは！  
ラッキー兄妹マウンテンマウスまあしいです！

今回は活動15年目にして、2015年12月25日クリスマススの日に【山口ふるさと大使】に任命されることになって幸せでいっぱいです！この出来事もこうして活動が続けられているのも、全ては温かい目で見守ってくれているみんなのおかげさまです。

去年、岩手県釜石市とマウンテンマウスはご縁を頂きました。釜石市は去年世界遺産に登録されたのですが、その立役者となり、世界的に注目を浴びて



村岡嗣政知事と

釜石市でぶち大切に尊敬されている人物が【大島高任さん】と言います。

『苗字が大島だ！親近感』胸を弾ませて資料館に行き、本を買い、歴史家や釜石市市長と対談してよく調べてみると、何と高任さんの先祖を辿っていくと、周防大島だと言うことが分

かりました。

更に、毎年必ず高任さんも子孫の方々も『昔昔周防大島で生き抜いて先祖がいたから私達がここにいますんだ』と、周防大島の方に向かって手を合わせてくれていたそうです！有り難すぎる釜石市と周防大島とのワクワクミラクル繋がり話でした。

僕は、これまでこれからも先祖代々の漁師と、大好きな音楽を続けながら【家族を大切に】『ふるさと大好き！先祖に感謝』のこの三つを、笑顔いっぱいワクワク伝えていきたいと思えます。そして、全国ツアーで周り、音楽を通じて出会った人達や、その土地の魅力を知って、『おかげさまで更にふるさと山口県が大好きになりました。』と、大好きな星野哲郎先生の365歩のマーチを笑顔全開で歌いながら、今を大切に生きていきます。

## 感謝 ありがとう 幸せの連鎖

ラッキー兄妹マウンテンマウス  
まあしい&まあちゃん

## 編集後記

3月に議員研修で東京・有楽町の「ふるさと回帰支援センター」を訪問しました。同センターは、都会から田舎に住みたい人々に、各県から派遣されている相談員が、地方の情報を提供し、気楽に相談に応じる場所です。

本町の定住促進協議会も同センターが主催する移住フェアやセミナーにも積極的に参加し、情報交換しながら定住促進に向けて努力しています。

移住者にとっては第二の人生のスタート、受け入れ側には新たな隣人が増える、と言うことで双方が納得して、後悔のない選択をしてほしいものです。

(今元直寛)



## 議会広報編集特別委員会

|      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 吉田 芳春 |
| 副委員長 | 濱本 康裕 |
| 委員   | 平川 敏郎 |
|      | 田中隆太郎 |
|      | 今元 直寛 |
|      | 松井 岑雄 |
|      | 尾元 武  |